

選定物件

世界遺産一覧表への記載に向けて今年度推薦することが適当と思われる世界文化遺産の候補物件として、「彦根城」を選定する。

選定理由

今年度に世界文化遺産への推薦を希望する物件は、「彦根城」であった。本物件については、令和6年10月にイコモス（世界遺産委員会の諮問機関）による事前評価の結果が通知されたことを受け、イコモスに指摘された事項に対して十分な説明がなされているかという観点も含め推薦書案について審議を続けてきた。

令和7年度の文化審議会意見においては、「検討に進捗がみられるものの、なお課題が残る点がある。今後のイコモスの審査を見据えて、推薦書案にあるような単独の資産での申請を行うためには、説明の充実に向けて引き続き取組が必要である。」とされた。

今年度、文化審議会において、イコモス及び文化審議会からのこれまでの指摘を踏まえて作成された推薦書案について審議を行った。その結果、推薦書提出までに海外の専門家にもより分かりやすい表現となるよう推薦書案の記述内容について修正していくことが求められるものの、「彦根城」は、諸外国に類をみない、江戸時代の大名による統治システムを物証できるものとして、顕著な普遍的価値が認められ得ると考えられ、かつ、構成資産は十分な保護措置を受けていることなどから、今年度推薦することが適当と思われる世界文化遺産の候補物件として、本物件を選定することとした。